

札建協が「1年目の同窓会」を開催

横のつながり大切に

辻副知事が100人にエール



一般社団法人札幌建設業協会(岩田圭剛会長)は二月二十九日、道建設会館で会員企業の若手職員を対象とした「二年目の同窓会」を開催した。写真1。就業の定着化を目的とした初の協会事業で、昨年四月に入社した職員のうち百四人が参加した。来賓として出席した道の辻泰弘副知事は、参加者奮闘を期待し、「研修会で横のネットワークをつ

くり、そして建設業への思いを大事にする機会にしてほしい」とエールを送った。同窓会は入社一年未満の会員企業の社員を対象に、入社後の体験を通じ将来を語り合う場として開催された。入職後、三年未満の離職率が高いことから、同協会が定着化を目的とした事業として初めて企画した。主催者を代表して、坂敏弘副会長が岩田会長の代理でありさつ。坂副会長は業界にとつて若手職員の確保が喫緊の課題だとし、「皆

さんには後輩を育てる人になってほしい。研修会で意見を出し合い、交流することが業界の健全化につながる」と期待を示した。このあと、来賓の辻副知事があいさつ。業界の研修会に副知事が出席するのは異例で、社会資本や防災の担い手となる建設業の人材確保を支援する道の姿勢をアピールする機会ともなった。

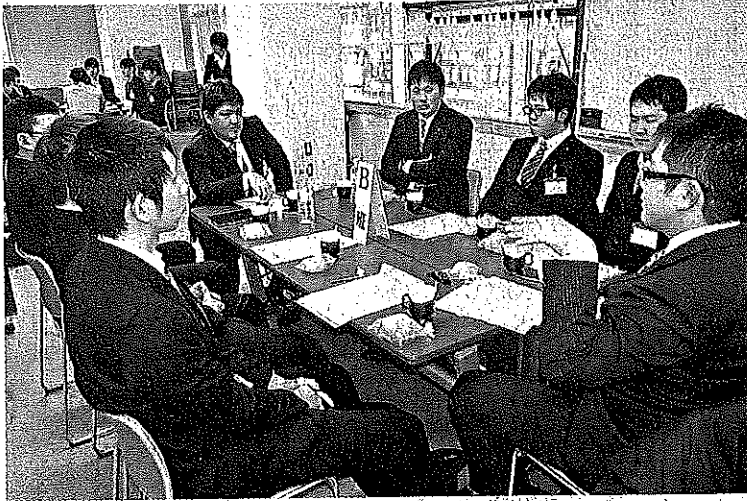
辻副知事は建設業の重要な役割を踏まえ、「業界就業者の高齢化が進行している。若年者の確保をはじめ、ノウハウを伝えしていくための育成・定着化が大切。研修会で悩みなどを解決できるチャンスにしてほしい」と訴えた。このあと、札幌大谷大学の平岡祥孝教授が「仕事に求められる三つの力」を演題に講演。平岡教授は、①発揮する能力(専門知識等)②認められる能力(気配り等)③人間関係の中で仕事をする能力(コミュニケーション等)を挙げ、それが人としての成長につながる」と自助努力を促した。体験発表会では、伊藤組(株)、岩田地崎建設(株)、新太平洋建設(株)、道路工業(株)、一三北路(株)の五社から、入社三〜五年の職員が参加。これまで経験した自身の失敗談やチャレンジした内容を発表した。参加者は体験発表のあとグループ討議を行い、悩みとその対処法等について話し合った。協議終了後、交流パーティーが開かれ同期として健闘をたたえあふ姿が各所でみられた。

若手が喜びや悩み共有

□…札幌建協研修会…□

「1年目の同窓会」に111人

札幌建設業協会(岩田圭剛会長)は2月29日、会員企業に勤めて入社1年未満の若手社員を対象とした「1年目の同窓会」を、札幌市内の北海道建



設会館で開いた。同じ建設業界で働く仲間と仕事

上の喜びや悩みなどの体験を共有し、建設業のやりがいや魅力をあらためて感じ取った。

参加者たちは、札幌建協が昨年4月に開いた合同新入社員研修で知り合っただけの再会。23社から111人が集まった。

大学や高校の新卒者が建設業を敬遠するだけでなく、高卒で建設会社に入った社員が定着しない傾向も全国的な流れで、3年以内の離職率は3割に上っている。

坂敏弘副会長は「いろ

いろな経験をした10カ月半だと思ふ。技術を伝承し、会社を背負う社員となり、後輩を育てることが大切。人材の確保と定着が業界の発展につながる」と成果に期待した。

来賓の辻泰弘副知事は「北海道の寒冷地技術は国内はもとより海外でも生かされている。本道にとって重要な産業の一つ」と将来の北海道を担う人材にエールを送った。

基調講演では札幌大谷大の平岡祥孝教授が「不満を持つて会社を辞めれば次の職場も辞める。仕事を通して結果を出すこと。信用と実績を積み重ねることが働く原動力になる」と助言した。

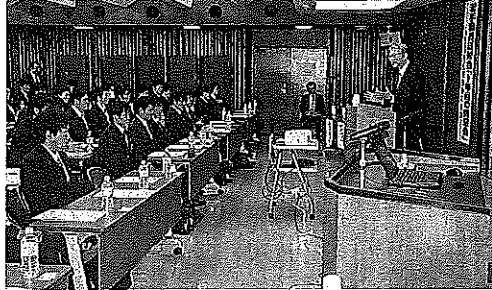
体験発表は入社3〜5年の先輩社員が過去の失敗談を率直に披露。伊藤組土建の中本和樹さん(27歳)は「休日出勤や残業で自分の時間がなかったが、工程を理解するとプライベートもやりくりできるようになった」と話した。岩田地崎建設の竹原一弥さん(27歳)は「早起きがつらく、15き痩せた。失敗は誰でも建設業の魅力、やりがいを感じ取った

する。その後のフォローが大事」とアドバイスしていた。

次いでグループ討議に移り、成功や失敗を含め普段の仕事ぶりをさらけ出すことで、互いに励まし合い、前向きに仕事をこなすことの意味を共有した。

■札幌建設業協会が若手社員向け合同研修

札幌建設業協会は29日、昨春から建設会社で働き始めた若手社員向けの合同研修会を札幌市内で開いた。写真。建設業への人材定



着を促すため企画し、23社の約100人が参加した。

入社直後の新人を対象とした研修会は毎年開いているが、1年近く働いた人を集めたのは初めて。道の辻泰弘副知事が「建設業は災害復旧を担う重要産業だ。この機会を生かし、横のネットワークを広げて」とあいさつした後、札幌大谷大の平岡祥孝教授が、うまく仕事を進めるコツをテーマに講演した。

このほか、参加者は職種ごとのグループに分かれ、これまでの経験を話し合うなどして、交流を深めた。